

令和2年11月9日

真庭市長 太田 昇 様

真庭市総合計画審議会
会長 大月 隆行

第2次真庭市総合計画の改訂等の答申にかかる附帯意見について

真庭市総合計画審議会では、令和2年4月27日に第2次真庭市総合計画の改訂及び第2期真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定についての諮問を受け、さまざまな分野で活動する立場から意見を交わしました。

その間、市役所では、全庁あげての検討の他、市民の意見を聞くための各種ワークショップや4校地合同の高校生ワークショップを開催するなど、市民の意見も踏まえて様々な観点から検討されてきたと感じています。

本計画・本戦略の着実な推進により、市民誰もが、多彩で安全な真庭でそれぞれが自分の人生を創り、自信を持って生きる「真庭ライフスタイル」が実現されることを期待しています。

ここに、審議会の過程において、各委員から提起された意見を取りまとめましたので、「附帯意見」として提出します。本計画・本戦略の推進にあたり十分配慮をお願いします。

記

【総合計画の着実な推進】

- 世界的に価値観が大きく変わっている状況をチャンスと捉えて、真庭市の資源を活かし、魅力を磨き上げ、市民の生活が豊かになるよう努めていくこと。
- 人口減少を「一人ひとりの存在感や価値、重みが増す」といった、豊かさにつなげていくという前向きなアプローチを行っていくことを市民の共通認識として広く周知し推進すること。
- 総合計画に掲げられた基本構想・基本計画、総合戦略に掲げられた事務事業については、財政にも留意しつつ、評価・改善・計画・実行のいわゆるCAPDサイクルにより着実に推進をすること。

- 評価の際には、数値の見直しだけでなく、内容の見直しも行えるよう柔軟な発想で取り組んでいくこと。
- 文化、芸術、教養など数値化が難しい指標については、市民意識の調査などを定期的
に実施して状況を把握すること。
- 本計画・本戦略を地域に落とし込んで、市民の生活に実感として感じられるようなもの
にしていくこと。
- 国や県等の支援策を積極的に活用しながら、効率的に事業を実施していくこと。

【人口減少対策について】

- 若いひとが、結婚の夢や出産の夢をかなえることができるまちをつくっていくこと。
- ヨーロッパなど人口が少なくても豊かな生活ができていく地域を参考に取組むこと。
- 人口減少の時代は、モノを売るのではなく、学ぶ時代であることに留意し、一人ひとりの深
い学びをいかに進めるかを検討していくこと。
- 女性目線の考えや思いを大切にしていくこと。
- 地域をあげて、男性も育児等を積極的に行っていく意識を高めていくことが重要であり、
官民あげて取り組んでいくこと。
- 官民連携して地域を挙げて通年雇用を行う仕組みづくりを、若者のためにも検討していく
こと。
- 市役所が率先して女性の採用・登用を行うこと。

【普及啓発】

- 市民が、自分たちの地域のことを知らない人が多いのも事実であり、本計画・本戦略を
通して、市民が地域のことを知り、誇りに感じる機会を増やしていくこと。
- 国や県及び市は様々な支援制度を設けているが、周知できていないことも多くある。ホー
ムページにアップしたら周知できたと考えず、効果的な発信方法を検討していくこと。
- 市民のみならず様々な方々と協力・連携して、真庭市のシティプロモーションを実施し、
市民の誇りを高める取り組みを行っていくこと。
- 子どもの頃から地域を知り誇りを持ってもらうことが重要であり、その体制づくりに努めること。
- 市民の生の声を聴き、併せて市の施策を市民に伝えるため、職員自らが地域へ出向く
機会を増やしていくこと。
- 関係人口増加は、人口減少の中で大切なことであり、様々な関係者・関係団体と連携
して関係人口を増やしていく取り組みを検討していくこと。

- 本計画・本戦略には、「価値人口」、「関係人口」など聞き慣れない言葉も出てくることから、市民にも分かりやすく発信し、しっかりと共通認識を持って取り組んでいくこと。

【その他】

- 支援する側と支援される側が固定化されないよう、誰もが社会貢献等で力を発揮できる仕組みづくりを行っていくこと。
- 地域の基盤である第一次産業は何もしなければ廃れていってしまう懸念を認識して具体事業を検討していくこと。
- 市民は様々な思いを持って活動しているので、それらを把握し、連携できる仕組みをつくっていくこと。
- 官民連携として、市役所と市内民間企業の人事交流をするなど官民一体となった取り組みを推進すること。
- 親が地域を愛しているかどうかで、子どもへの影響も大きくなることから、大人への郷育も推進していくこと。
- 地元の高校への進学者が増えるように、小中学校からの地元教育を推進するとともに、岡山県とも連携して魅力ある高校づくりに取り組んでいくこと。
- 高速道路の結節点という立地を活かし、様々なかたちで真庭市に関わる人を増やしていくこと。